

いわて県連だより

【第75号】 発行日：2024年12月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会

県連会長

衆議院議員

参議院議員候補予定者

元参議院議員

鈴木俊一氏
平野たつお氏



党総務会長
鈴木 俊一氏



元参議院議員
平野 たつお氏

令和六年十二月二十一日、盛岡市内のホテルにおいて総務会が開かれ、空席であった県連会長に、前財務大臣で党総務会長の鈴木俊一衆議院議員を選任いたしました。

また、来年行われる参議院議員通常選挙の候補予定者には、元参議院議員の平野たつお氏が選任され、近く党本部に公認申請を行うこととなりました。

このほか、衆議院選挙後の選挙区支部長について、一区は米内紘正氏、三区は前衆議院議員の藤原崇氏が党本部において選任されたことが報告されました。

鈴木会長は就任挨拶の中で、「国会では少数与党として薄氷を踏む思いであり、一日も早く安定した与党政権を築くために、岩手を含め党勢の回復に努めていく」と決意を述べました。また、その後の記者会見の中で平野氏について、「各地の選挙事情が分かり地域の人脈も築いている。総合的に考えて一番ふさわしい」と考えを示しました。

国際リニアコライダー
(ILC) 一歩前進!

岩手県連として長年要望し、今年十一月にも党本部へ要望を行った、国際リニアコライダー計画(ILC)が、党政務調査会の「科学技術・イノベーション戦略調査会」の中で議論がスタートいたしました。

ILC計画は、県の将来にとって重要な政策です。今後も議論を重ね、計画の実現に向けて、県連としても活動を活発化させていきます。

いわて政治塾
第二回講座

十二月十四日、いわて政治塾第二回講座を開催しました。

今回は、元岩手町危機管理監であり宮古市崎山地区防災士会々長の佐々木重光氏から「変化を求められる災害対応、災害に学び災害に備える」と題してご講演をいただきました。講演後のグループワークでは、日頃の災害対応で感じていることを情報共有しました。

【周産期医療PT】山梨県視察調査



十二月十九日から二日間、山梨県が行う産前産後ケア事業について、県議会自由民主党会派の周産期医療プロジェクトチームによる視察調査を行いました。

これは、人口減少対策プロジェクトの一環として、県の強いリーダーシップのもと、市町村と連携して行っているものです。まず、山梨県当局から、ニーズ調査及び分析等から産前産後ケアセンターの設置に至ったことや、県と全市町村による広域連合体、いわゆる「山梨方式」による運営について

ご説明をいただきました。

続いて、施設の現地調査では、施設見学と共に具体的な運営方法や今後の課題なども詳しく伺うことができ、岩手におけるこの事業の可能性を探ることができました。

この調査を生かし、ぜひ「岩手で子育てしたい」と選ばれる大きな理由の一つとなるよう、岩手でも産前産後ケアセンターの開設を目指してまいります。



【女性局】北海道・東北ブロック会議

十二月十四日、秋田県内で「北海道・東北ブロック会議」が開催され、党本部から本田顕子女性局長が参加されました。

議事では、来年の活動方針・政策テーマ、参院選に向けて取り組むべき事項等が協議され、岩手県からは鈴木あきこ女性局長が参加し、「子ども誰でも通園制度(仮称)の実施に向けた保育士の人員配置の見直し」などを提案いたしました。

また最近の首長選等で、SNSによる発信が選挙情勢に影響を与えていることを受け、党本部へ勉強会を要望する意見が多く、県連から出されました。

